

市民文芸

短歌

阿南市春季短歌誌上大会 選

入選 幟竿の杉丸太一本エイエイと担がれ山下
の梢揺れつつ 井上 京子

入選 「明王院」に八百年の蘇鉄見ゆ季節が判
らぬ認知症らし 中山 善嗣

入選 我のみの欠伸に見廻す部屋の中一番列車
が踏切り通る 黒部 君代

入選 曇天は我を丸ごと包みおり 張り切らず
良い頑張らず良いと 庄野 悦子

入選 董の葉を手で持ちあげてスプレーを吹き
つけてる朝の病院 浅海 弥生

入選 あなたへの思ひはいつもすれ違ふ月を探
せとふくろうの鳴く 吉田 文恵

入選 人類を「コロナウイルス」攪乱す研究者
も立つ戦のごとく 山根千代美

入選 喪の家に季を急かせる春の風伸び立つ土
筆の穂先が悲し 宮崎喜美子

俳句

阿南市俳句連合会 選

うなづけば揺るる耳輪や秋桜 篠原悠紀子
初自炊新米握る進学子 鎌矢美代女

浪風に朝な夕な秋思秘め 奥田 蒼郎
二羽で舞うラストダンスか秋の蝶 七條クミエ

ふる里の波の音聴く秋の暮 平 イチ子
欄干に顎おき覗く秋の川 富永 恵女

百歳にもう一息や菊香る 神野千鶴子
指太し赤き鶴折る良夜かな 浜田百合子

名月や温め牛乳ゆるゆると 水口 明美
藤袴みぢんの苔ふくらめる 田中 栄子

川柳

阿南川柳会 田上鶴子 選

いつになく愛想良ければ気を回す 滝川 太郎
生きる事臓器移植という望み 一渡邊 浪漫

水の音幸せつなぐ明日の夢 野村 敏子
ゆつたりがいいね流れも人生も 橋本 征介

八十路来て無事に暮らせる日々感謝 二階千代美
ありふれた日常我が身愛おしむ 田上 鶴子

一般応募
コロナ禍へ夕焼け映える年の暮れ 島尾美津子
サンマ食べ極上の秋噛みしめる 武田 敏子

いい女望みは捨てていませんわ 仁井 信子
お歳はと聞かれて恥じる高齢者 吉田 當代

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社 選

初秋吟 高橋 静雄
残蟬鳴罷夕陽傾 夕陽傾き

松影當窓顯氣清 松影窓に当つて 顯氣清し
一雨一過炎熱散 一雨一過 炎熱散じ

籬邊蟲語已秋聲 籬辺の虫語 已に秋声
看楓 井関喜久子

曳筇尋到路西東 筇を曳き尋ね到る 路西東
一帶楓林黃又紅 一帶の楓林 黄又紅

樹蔭暫休詩未就 樹蔭暫く休む 詩未だ就らず
樊川何處仰蒼穹 樊川何の処ぞ 蒼穹を仰ぐ
※樊川―杜牧の号

述懷 谷口田鶴子
滔滔歲月幾時平 滔滔たる歲月 幾時か平かなる
一喜一憂過一生 一喜一憂して 一生を過ぐ

晴耕雨讀獨營營 晴耕雨読 独り営営
晴耕雨読 独り営営



【シンビジウム】
洋ランの中では丈夫で、開花時期が12月～4月の寒さに強い多年草です。多彩で華やかな花姿と3カ月程度続く花持ちの良さのため、冬の鉢花として人気。贈答によく選ばれます。本市から約100品種を出荷しています。